

# たんぽぽだよ

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市会議員団控室 TEL 740-1111 (内線4020)

直通FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4765



## お年寄りの交通費助成、復活して!

6月24日(金) 厚生経済常任委員会  
会で「高齢者の交通費助成制度を守ってほしい」むねの請願が再度審査されました。3月議会と同じように、制度復活を求めて傍聴の方達が熱心に審査の行方を見守りました。

### 請願は継続審査に

70歳から市の6千円補助で1万2千円の寿ラガーカードを購入できる制度ですが、対象者の8割を超えています。「助かってる」「もっと幅広く使えるようにしてほしい」など拡充を求める声が多い制度です。しかし、市当局は、この3月議会で財政難を理由に「休止」を決め、予算化しませんでした。3月の委員会では、共産党以外の議員は、「要望は理解するが、制度の見直しが必要」「コミュニティバスの動向をみる」と継続審査に。

### 請願を採択すべき!

しかし、他会派議員は3月議会と同じ意見を述べて継続になり、9月議会で再々審査になりました。

昨年は敬老祝い金が廃止、今年から福祉金や福祉医療費の廃止・改悪、国民健康保険税の大幅値上げなど福祉切り捨てに拍車がかかっています。

財政難と言いつつ、今年も中央北地区で3億7千万円の土地購入費が予算化等々、大型開発は借金を膨らませ、返済のために市民生活が脅かされます。

## 緊急!

...アスベスト被害について...

健康被害が連日報道をされています。相談されたい方は、伊丹福祉事務所 健康増進課 072-785-7464 川西市役所 健康づくり室 072-758-4721 環境創造課 072-740-1202へ



6月定例議会

市政アンケートにご協力ありがとうございます。



### 障害者自立支援法案

#### 介護保険の見直し

市として、国に対して意見を

「国の財政負担が大きい」

「制度の持続のために」

などを理由に障害者(児)に

サービス利用料1割の応益

負担や、「世帯収入」制の導

入等が、国会で決められよ

うとしています。これは、

介護保険との統合を前提に

「1割負担」を「公平・平

等」に行うことが狙いです。

一方、介護保険は5年目

の見直しの時期で、要介護

1・要支援の人達のサービ

スを切り下げようとしてい

ます。どちらも「自立」「予防」「公平」を名分に国のお金を削る内容です。

しかし、制度改悪の中身がわかってくるにつれ、必要なサービスを受け続けられるか、金銭的な負担増への不安・不満・怒りの声が、大きく強くなっています。

国が福祉の財政を負担するのとは当たり前。市民を守る市として実態を把握をし、地域間格差を生まず人権を守る立場で強く国に対して意見を言うべきだと一般質問で追求しました。

### 「まめの歯ざり

郵政民営化は、国民の預

金や保険の掛け金、約34

0兆円余を日米の大企業や

大銀行が使えるようにする

ため?

国民の貯めた年金基金

(約150兆円)を株式投

資して6兆円余の損失、誰

も責任を取らず、儲けたの

は、手数料を手にした大銀

行?

いったい誰が「得」をす

国民が15年間に払った148兆円の消費税はそっくり大企業・大銀行の法人税減税の穴埋めに消えた。国民は、痛みを我慢しているのに、お年寄りも子どもも、障害を持った人もサラリーマンもみんな傷口が広がっていく。「公平・平等」という名の下に強い者を応援し、弱い立場の者をいじめめる。この国は社会保障費25兆円に対して、巨額開費には40兆円も。「財源がない」その言葉を信じますか?

アスベスト(石綿)の健康被害が大きな問題になっています。どんな危険があり、なにが問題なのか。Q & A形式で考えてみました。(宇野龍彦)

### どんなもの

Q アスベストってどんなもの?

A 昔から石綿と呼ばれている、繊維状の鉱物です。蛇紋岩(じしゃもんがん)系と角閃石(かくせんせき)系に大別され、角閃石系の青石綿、茶石綿はより毒性が強いことがわかっています。

飛散すると空気中にたまたよい、目に見えません。発がん性があり、吸い込むと肺や胸膜、腹膜などががんを発生させたり、肺の機能をそごなう石綿肺(じん肺)などになる恐れがあります。

### どこに使用

Q どんなふうに使われているの?

A アスベストは熱に強く、燃えにくい、電気を通さない、薬品に強く腐食しない、曲げる力や引っ張り力にも強い、安価、といった特徴があります。このため「奇跡の鉱物」といわれ、工業用から電気製品、日用品にいたるまで、約三千種にのぼる広い範囲で使われました。とくにアスベストの九割は、天井・壁材、スレート瓦など建築材として使われています。

### 政府の対応は

Q そんな深刻な被害が出るのに、日本政府はさうしたの?

A アスベストが「発がん物質」と米国で指摘されたのは一九三五年とかかなり早い時期でした。六四年には米国の「ニューヨーク科学アカデミー」の国際会議で、肺がん、中皮腫を発生させるとする警告が「勧告」として出されました。

七二年には国際機関である世界保健機関(WHO)や国際労働機関(ILO)がそれぞれ危険性を指摘しました。

にしたのは〇四年になってからです。それでも「代替品のないもの」は除かれ、完全禁止は〇八年まで先送りされています。とくに建材では、ことし三月末時点でも、繊維強化セメント板七万七千枚、屋根用化粧スレート九千平方尺相当などの在庫があります。二〇〇四年十月以前に製造したものは経過措置として販売が認められています。

### 外国の場合は

Q 外国ではどうなの?

A 八〇年代にはすでにヨーロッパ諸国で相次いで全面使用禁止になりました。米国でも八九年からアスベストの生産・輸入を段階的に規制しています。

### 救済と予防は

Q 被害者救済と被害予防にはどんなことが必要?

A まずアスベストを一刻も早く全面禁止にすることが大切です。そして今後、アスベスト建材を使った建物を解体するときには、アスベストを周辺に飛散させない、作業で吸い込まない対策も必要です。

労働者退職者、住民などにたいしても、肺がんや中皮腫の早期発見のための検診、労災認定、補償を迅速化し、拡充することが国に求められています。たばこによる肺がんなどと同様にきた死者も患者の職業やアスベスト特有の胸膜肥厚斑(ひこうはん)を調べることも必要です。専門医は「今後は過去にアスベストを吸い込んだことがないのかも、診断時に調べるべきだ」と指摘しています。

## 健康被害が大問題

# アスベストQ&A

### どんな病気に

Q アスベストでどんな病気に?

A いま一番問題になっているのは、長い潜伏期後に発病する肺がんや胸膜、腹膜からのがんである悪性の中皮腫です。中皮腫はとくにアスベストとの関係が非常に深い。日本では、政

府が統計を取り始めた一九九五年からの九年間で中皮腫で六千六十人の死者が出ています。吸い込んだアスベストが肺や胸膜などの細胞に突き刺さり、がんを発生させるとされています。

んだ量が多いほど、発病の危険性は高くなります。しかし、少ないからといって安心はできません。旧労働省の専門家会議がまとめた報告書(一九七八年九月)は「中皮腫は少量でも発生する可能性がある」と指摘しています。

アスベストを吸い込んだ可能性の高い工場周辺の住民や、建設労働者やその家族などは定期的な健康診断で肺がんなどを早期に発見し、初期治療することが大事と専門医は指摘しています。

九五年になって毒性の強い青・茶石綿を製造禁止にしましたが、これも回収はおこなわれていません。政府がアスベストを原則禁止

お申込み先

黒田 みち 790-3055



日刊 2,900円 月 800円